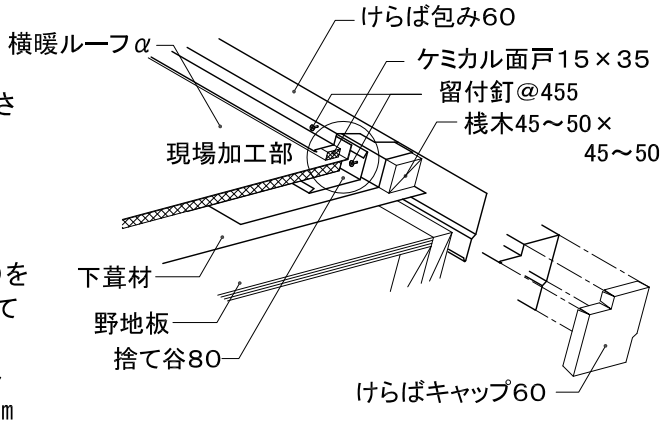
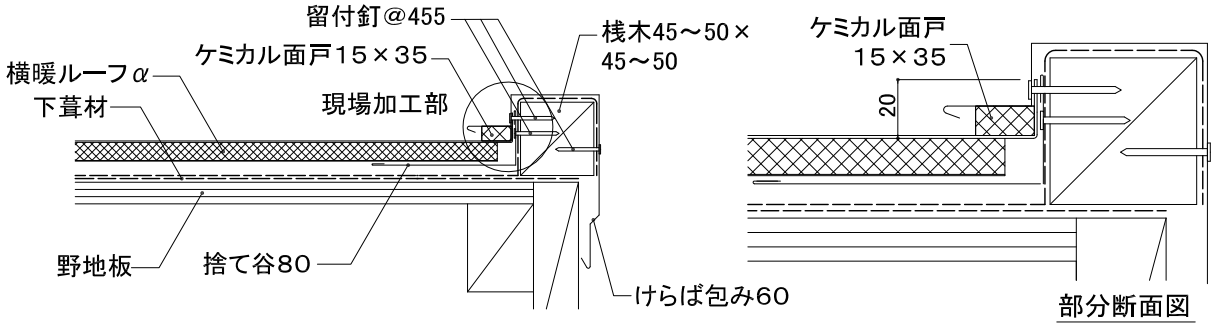
横暖ルーフα	工 法	下 地	構造
	新築	耐水合板	木造

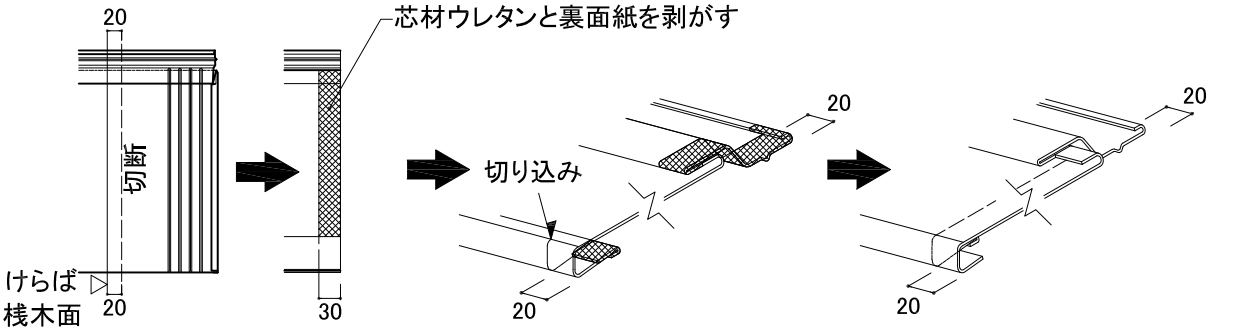
5）けらば部　　②けらば包み60

○野地板の上に下葺材を張ってください。
○けらば部に桟木45～50㎜×45～50㎜を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りしてください。
○捨て谷80は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けてください。
○本体の図の位置にケミカル面戸15×35を貼り付け、けらば包み60をかぶせるように施工し、留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けてください。
○軒先端部の仕上げは、けらばキャップをリベットまたは留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）で桟木に留め付けてください。

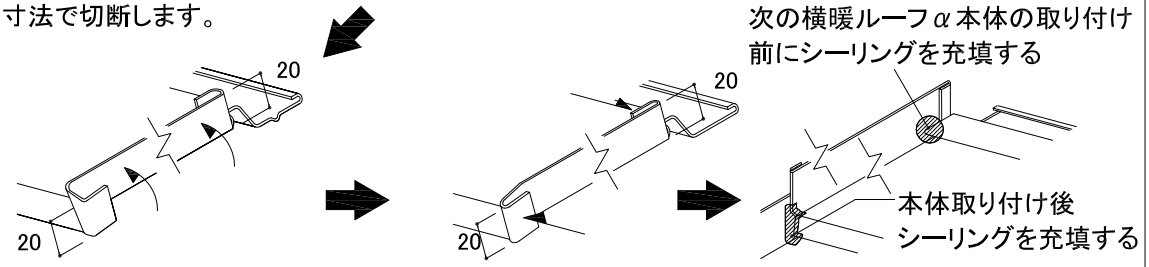




■施工ポイント・現場加工図
○横暖ルーフα本体のけらば部分は図のように加工してください。



①けらば桟木面から図の寸法で切断します。
②網掛け部分を切り落とします。



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。
④Rの部分をつぶします。
⑤接合部から雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填してください。